

— HSK

わだち

—全国筋無力症友の会道支部 ニュース—

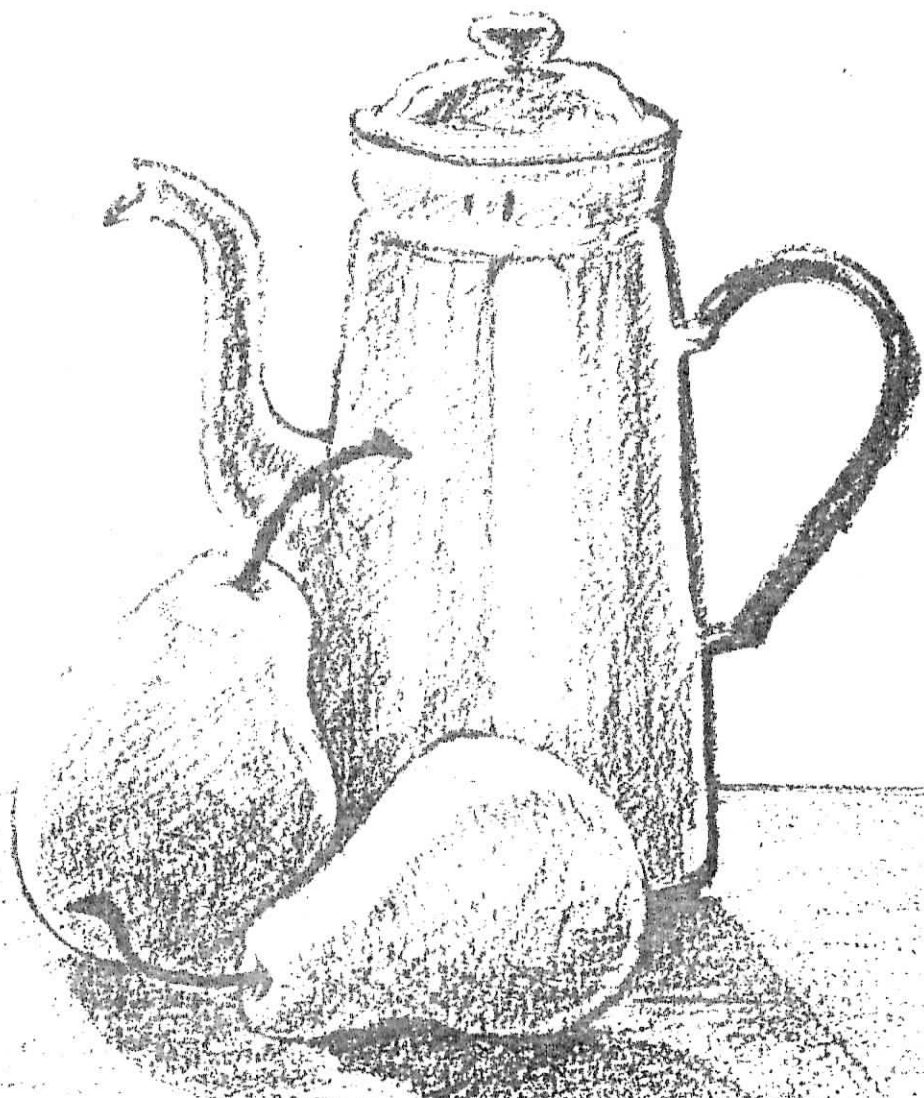
編集人 全国筋無力症友の会道支部
〒060 札幌市中央区大通西9丁目
協栄生命ビル9階 電話 261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1条4 本間たけし

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻126号

昭和57年10月10日発行 (毎月1回10日発行)

わだち№4142号 1部 50円



Kasumi '82

ついこの間まで、緑一色と思っ
ていたのが、もみじも紅葉し、いちじくの
黄色が、まわだいてカウフルに展開され
ている今日この頃ですが、皆さま、お元氣
でしょうか。

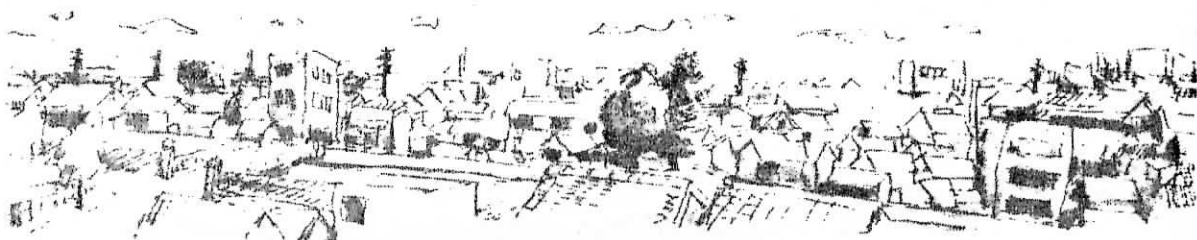


● 今年、国際障害者年の二年目でありながら、医療費抑制で
医療費全額を窓口で支払う制限出来高払いにするとか、入院中
の食事代を患者負担にしたら良いのではなにか、と言う案が出
ています。

又、高額療養費の自己負担限度額が3万9千円だったのが、
国民に知らされないうま9月1日から、4万5千円に引き上げ
られているという現実です。

私達 患者にとっては、どちらを向いても、頭のいたい話し
です。一人ひとりが、福祉について真剣に考える時期でもあ
ると思います。

くわしくは、「なんけん」で記載されることと思いますが、
新聞・ニュースなどにも報道されていますので、注意深く読ん
で下さい。



京都での第11回全国総会 に出席して……

おくれはせながら、5月29日に京都堀川会館で開催されました第11回全国総会に、北海道より9名が参加しました。内容につきましては、先日本部から届きました、希望47号に詳しく掲載されておりますので、ご覧になって下さい。ここでは、参加者の感想をひとことのとべてみたいと思います。

中道 和子

第11回全国総会に京都へ行って参りました。

季節も最もよい初夏とあって、観光もかね、気心の知れた仲間との旅行は、大変たのしく、また有意義なものでした。参加出来なかった方には、申し訳ないと思いますが、近いうちにきっと一緒に旅行出来る事を、確信します。

なぜなら、参加者が毎年増えております。(当支部も例年になく9名もの参加でした。)

それは、経過がよく元気になった方が増えているからでしょう。それを特に感じたのは、今年は医療相談会には、深刻な質問

が、あまりなく、むしろすっかり元気になった方が、病気を
思い出すため出席していて、再発の予防がみればと質問してい
ました。 重苦しいものは、全く無く、終始 明るい雰囲気
の京都総会でした。

竹村 慶子

朝・夕めっきり涼しくなり、野も山も紅葉する季節となりました。

京都での総会から四ヶ月余り過ぎました。

皆さんお変わりありませんか。

あの頃の京都は、むしろ暑く、時折小雨にあいながら、金閣寺
嵐山・映画村での記念撮影 たくさんのスナップ写真、楽しい
思い出が、たくさん出来ました。

皆さんに助けられ、京都・奈良と本当に楽しく、私にとって
初めての旅行でした。

今回 参加出来なかった
方も、次回の総会には頑張
って参加してほしい、いかがで
しょうか。

金閣寺
の前にて



工藤 峰子

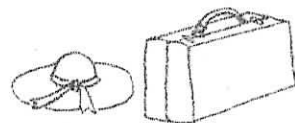
みのりの秋。皆さもお変りございませんが、
全国総会から早くも四ヶ月が過ぎました。
虫やかえるの聲かにぎやかな自然の中で、古都
京都・奈良のことを思い出しております。

大阪支部一同からのお出迎えを受けて、全国のお仲間との出
合には、ほんとうに楽しいものでした。また、いっしょに宿
泊することで、思いかけない交流の機会となり、手を貸して下
さったり、お疲れになったことでしようと、やさしい言葉や、
励ましをいただきました。

はじめて家族から離れての旅で、つらい思いをする事もあり
ましたが、色々な事を体験できました。

私は声をかけ励まし合って病気に立ち向う「会」、勇気と広
い心を持ちたいと思います。

“大阪支部の方々の、ようこそいらして下さいました。”と迎え
て下さった暖かいおもてなしに感謝して、御礼申し上げます。



高橋 美津子

何年も前から1度出席してみたいと思っていた総会。やっと今年出席することが出来ました。



今年は、と決めてから

月・日は早く、あ——と言うまに5月になりました。

でも、10日ほど前になってから、今まで早く過ぎたのが、1日・1日が長く、何にひとつ手につかず、時計をながめたり、こまみを見たり、座っても・立っても、落ちつかず、ふあ〜とした気持ち。ただ総会だけの毎日でした。

夢にまで見ていた総会、大勢の参加者で盛会でした。

北海道で逢ったなつかしい顔、薬りをたくさん持って、又、機械を持った人、話をするのがやっとの人、歩くのがやっとの人、やっぱり全国総会だな?と思いました。

初めての私には、おどろく事ばかりでしたが、本当に出席してよかった、又かならず出席したいと思いました。

何年かかるかわかりませんが、色々な事を目的に頑張ってみようと思っています。

今年出席していない皆さん、1度行って見ませんか?

鈴木 恵美子

このたびの総会には行けないはずでしたが……
出発二日前に急に東谷さんの代りに行くことが出来ました。

(東谷さんのお姑さんが亡くなった為)

お11回総会は、さすがに大阪支部の皆さん、内容も充実して大成功でした。

私も、お茶くみを お手伝いさせていただきました。

大阪の大都会的な所を少し行っただけで、日本的な京都が有り、行く先々で、古風なものを見ることができ、嵯峨野では、空気がとてもおいしく、静かで、心あられれた思いました。
また、日本にもこの様なところが有ることを、うれしく思いました。

身体の悪い者は、とてもひとりでは旅は出来ないものですが、
けれど、こういう会が有り、皆んなでまとまり力を合せば、旅行も出来、又、日常生活にも、
自信がもてます。

来年は、一人でも多く総会に
出席できるよう、がんばろう
ではありませんか。



答へよう
ねえ
お

緑川 よしえ

全国総会に初めて参加させていただきました。

大阪支部の皆さんのファイトと組織の強さを目のあたりにし

北海道支部のこれから活動にも、役に

たつことと、確信してまいりました。

また、北海道支部にありました。

高谷 修さんが、現在 京都で

学校の先生をなさっています。

今ほととでも元気と言うことで、

全国総会で、再会することが

できました。このような事も、友の会ならではのことですね。



伊藤 かすみ

全国総会に参加したのは、これで3回目ですが、年々、楽しく、なごやかなものになってきていますね。

友の会のチームワークが、それだけ強くなってきているものと思います。

北海道支部も、ますます、チームワークの輪を広げてゆきたいものです。

北海道支部大会について

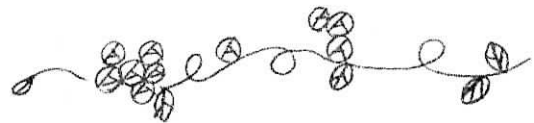
前号で 函館地方での開催を検討中とお知らせしました。

患者が安心して宿泊できる施設を あちこちさがしてみました
が、収容人数の面で適当なところがなく、厳冬もまじかにせま
って、大会を開くには、時期的にも困難となってしまいました。

そこで、役員会で話し合った結果、今年は支部大会の開催は
あきらめて、総会で話し合われた 函館・釧路地方での小集会
を実現させようと、努力中です。

日程など決まりしだい お知らせしますので、函館地方、釧
路地方の方は、ぜひ ご参加下さい。

楽しく、有意義なものにしたいと考えています。



函館地区

釧路地区

小集会を開催します

・・・日程・場所は未定・・・

・・・友の会北海道支部・・・

相談室より

担当 伊藤たてお

抗コリン剤の副作用について

抗コリン剤（マイテラーゼ、メスチノン、ウブレチッド、ワゴスチグミン）の副作用についての相談が寄せられています。

また、副作用に気づかずに長期間服用している方もあります。抗コリン剤の副作用は、十分に気をつければ簡単に防ぐことができますし、長期間、人体に影響を与えるものではないようです。しかし、副作用に気づかないために、病気の回復を遅らせている人や、副作用そのものを筋無力症の症状だと思っている人が、少からず見受けられることは大変残念なことです。

場合によっては、副作用によって危険な状態になることもあります。

副作用について、勉強しましょう

副作用をよく理解するためには、筋無力症の仕組みと薬の作用について知ることが大切です。

(1) 筋無力症はなぜ起きる

筋無力症は、「自己免疫」の病気であることが解明されてきました。

免疫というのは、分りやすくいえば、人間の体の中の外敵に対する防衛反応です。

いわば、軍隊や警察のようなもので、人体内に入ってくる体に害のある異物を殺す作用です。

これは主に、血液の中にある白血球がその役割を果たします。

ところが、何かの原因で（その原因は、今、いろいろと考えられております。）外敵に対してでなく、味方、つまり正常な自分の組織に対する攻撃をはじめてしまいます。

これを自己免疫作用といいます。

反乱（クーデター）や情報の間違いによる味方攻撃のようなものです。

そうしておこる病気を自己免疫病といいます。

代表的なものでは、膠原病、リウマチ、ベーチェット病などがあり、重症筋無力症もその一つと考えられています。

(2) 筋無力症は、筋肉の病気ではありません。

私たちの筋肉が動く(のびたり、ちぢんだりすること)のは、脳から出た命令が、神経を伝って筋肉に届くからです。神経が筋肉へ命令を伝えるには、神経・筋接合部というところで、伝達物質というものが神経と筋肉の間に作用します。

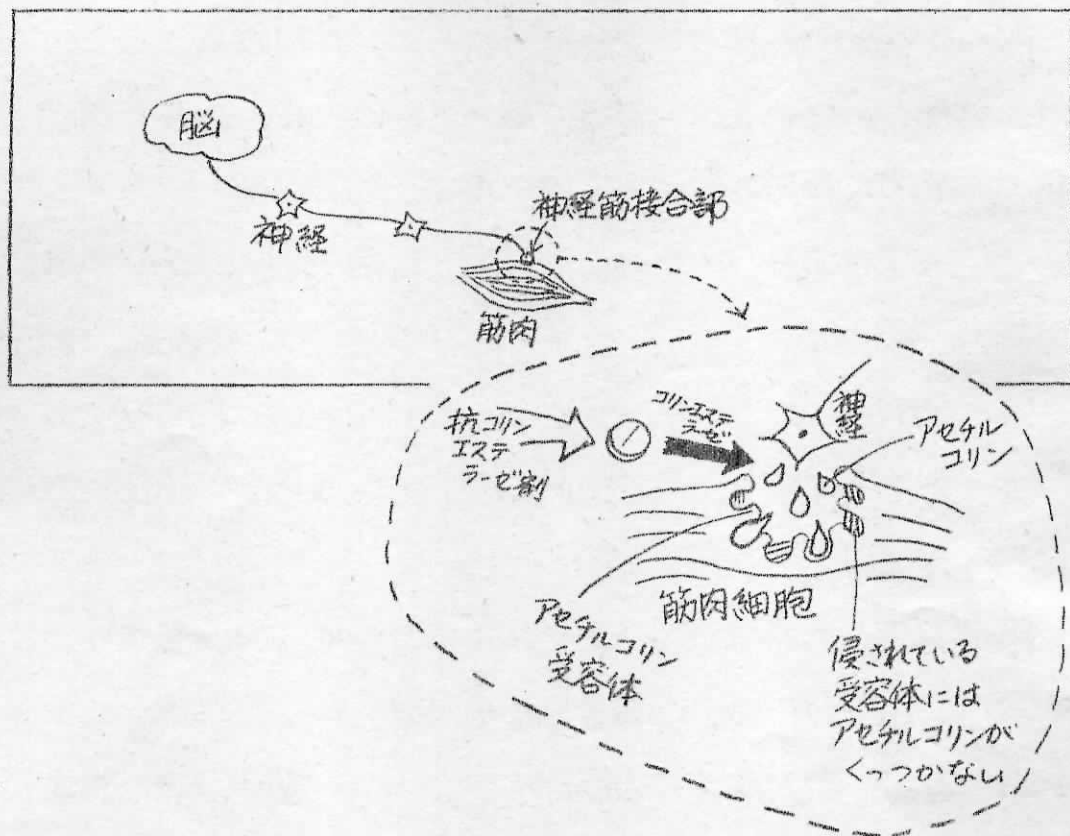
神経の命令によって、アセチルコリンという物質が出されると、筋肉がちぢみ、そのアセチルコリンという物質をコリンエステラーゼという物質が溶かしてしまうと、筋肉の力は弱まります。

筋無力症の患者は、このアセチルコリンやコリンエステラーゼは、ふつうに出ていることが分りました。

では、なぜ脱力が生じるのか、というと、筋無力症の患者は、自己免疫の作用で神経筋接合部にあるアセチルコリン受容体(つまり、アセチルコリンを受けとめるところ)に異常があって、せっかく出ているアセチルコリンを、ほとんど逃がしてしまっているためです。

※ 根本的な治療は、胸腺の摘出手術や(なぜ、胸腺をとるとよいのかは、別な機会に書きますが、今までの“わだち”や“希望”にもたくさんののっています。)補助的方法として、ステロイドホルモン剤の治療など

をうけることとなります。



(3) 抗コ剤の治療とは

筋肉をつよめるアセチルコリンが、少ししか体でつかめないのに、それを溶かすコリンエステラーゼは、ふつうに出ているのです。

それで考えられたのが、このコリンエステラーゼを抑えてしまえば、アセチルコリンが溶かされないですみ、少ないアセチルコリンが有効に働く、という考え方です。

そのコリンエステラーゼを抑えるのが、抗コリンエステラーゼ剤という薬です。

(4) 薬が多ければ副作用が出る

ですから、このコリンエステラーゼを抑える抗コ剤を、必要以上に多く飲むと、アセチルコリンがいつまでも分解されないために、筋肉のふるえなどの副作用が出ます。

この副作用は、ムスカリン作用、ニコチン作用、コリン作動性、などとよばれていますが、内容は簡単なものです。みんなが経験しているものです。

(5) 副作用は、このようなものです

① 薬をのんでから(空腹の時は特に早く、強く出てきます。)、しばらくすると、筋肉がピクピクする、手足の筋肉がふるえて、力が入りにくくなる。

ほおや、舌の筋肉が少しケイレンしたようになり、うまくしゃべれない。

ツバ(ダ液)が出てくる。涙が出てくる。汗が出てくる。下痢をする(何しろ、腹部手術のあとの便通の薬と

して使われているくらいですから)、などの作用が出てきます。

② 次にすすむと、筋肉がこわばる、動かない、などの作用が出ます。

そして、ひどい場合には、

③ 呼吸困難(クリーゼ)を起こしてしまいます。

(6) 副作用が出たらどうする

ふつうは、ほとんど①の段階ですので、じっとして、2〜3時間、長くても6時間以内にほとんどの症状が消えてしまいます。

激しい腹痛も、眠ってしまえば忘れることができるので、ひたすら眠るように努力して過ごす人もいます。

副作用が出た時は、次の服薬は、一回控えた方がよいでしょう。

それを控えないで、また時間がきたから、と飲んで飲むことをくり返していると、体は慢性的な副作用となり、それが筋無力症の症状と思ったり、また、体がそれになじんでしまって、少しずつ薬の量が多くなってしまふ、ということになります。

②や③の段階のようになったら、硫酸アトロピンを注射して急いで副作用を消さなければなりません。

また、③の段階ではできるだけ早く病院へ行って、医師の管理を受けなければなりません。

その時は、薬をのんでいることをはっきりと医師に告げなければ、薬の不足によるクリーゼと見分けがつかないために、

またワグスチグミンなどの注射をされて、決定的に悪化してしまうことになりかねません。

③の段階では、本物のクリーゼと同じように、大至急、救急車を手配しましょう。

(7) 副作用を防ぐためには

以上のように、人間の体のしくみ、病気のしくみ、薬の作用を正しく知っておくことが大切です。

友の会の集会、講演会や機関誌で勉強しましょう。

薬を多くのみつづけることは危険です。

現在では、抗コ剤では、例えばマイテラーゼは、1日4錠以上は飲んでも意味がないし、副作用が出るだけだとされています。

それ以上飲んでいる人は、体が薬に慣らされてしまったので
しょう。

それでも効果のない場合は、他剤との併用や、治療法を見直
してみる必要があります。

また、副作用を抑えるために、といって、硫酸アトロピンと
併用している人がいますが、これも特殊な場合を除いては
まるで意味のないことです。

少量の薬で効く範囲までを、治療の限界とするべきです。

薬をのむ前に何かを胃に入れること、ビスケット一枚でも
牛乳でも入れることが大切です。

早目に胃で吸収されることを防ぐためです。

薬の量を減らしたり、一日の量は減らさなくても、時間
によって調整したりすることが必要です。

薬の量は、血液の中の量で計られます。

ですから、できるだけ一日中、同じ量がいつも血液の中に保
たれるのが理想的です。

副作用をおこすほど一度に飲んで、次には全く飲まないで、
というのでは、効果半減です。

また、これらの症状が、緊張した時の様子とよく似ている
ことに気がつきませんか。

ですから、外出など 緊張が高まる時や、強い運動を行なおうとするときは、むしろ、薬は少なめの方が安全なのです。この反対を実行している人が多く見受けられますが、それは薬に対するわたれゆかりです。薬がないと安心できない、という心理がそうさせるのです。

(8) 抗コ剤は、万能でない。

最後に、抗コ剤は 万能ではありません。

体のしくみ、病気のしくみで知ったように、抗コ剤は、一時しのぎの手段にすぎません。

もちろん、それで現在の状況がよく保たれている人は、それでよいのです。

しかし、中には欲ばりな患者がいるものです。

ひどい脱力だったのに、マイテラーゼ/錠をのむと力が出てきた。すると、2錠のめば、もっと元気になるのではないかと考えてしまうのです。

誰でも、患者であれば、つい考えてしまう陥し穴です。

抗コ剤は、筋肉を強める薬ではないのです。

そこを、はっきりと覚えて下さい。

そして、副作用のある薬です。

そしてさらに、多量を長くのみ続けると、体もいつの間にかその多量になれてしまうのです。

しかし、筋無力症は変りないのです。

一度に、薬だけでよくなるろうとせずに、気長に根気よくそして、よい治療に巡りあえるように、日常の健康や栄養に充分気をつけ、睡眠はたっぷりとり、人にたよらず、病気にたよらず、また軽視せず、新しいものに挑戦する勇気と好奇心を旺盛に持って、けっしてあきらめず、かつ、自分の今を冷静に見つめて無理をせず、少しずつ自分の生活を確立していく。そんなふうに、長期慢性の患者は過ぎなければなりません。

昔のようにと、いつまでも過去にこだわってはいけません。昔を美化してはいけません。

そして、確実に年をとっていくのですから、自然に体力も衰えるのですから、その範囲内で、楽しくやろうではありせんか。

(終)

みんなのひろば

→ 太田 真代さん ←

相変わらずのすごい読書家。
太田さんの頭のひきだしには
何千冊の本が入っていること
でしょう！
体調はよい方に向っている
とのこと。

→ 宇庭 広子さん ←

この間、札幌にいらした
と思ったら、ご主人の転
勤でまた北見へ行か
れました。
・新住所・

→ 鎌田 瞭子さん ←

8月の難病連の総会に参加
された時、ぐあいが悪くなっ
てしまいましたが、今はもう良
くなりました。とのこと。

→ 新出 友宏君 ←

夏休みに、北大で検査
を受けました。

胸腺が少し肥大しているとのことでしたが、
このまましばらく様子を見るということ
です。

→ 鈴木 恵美子さん

ステキな家を建てられ、先日、
役員有志で 新居を拜具に
おじゃましました。

ちょっと疲れが出て、一時
寝込んでしまいましたが、今
は 元気、元気!

・新住所・

→ 鈴木 淳子さん

相変わらず元気に 物販
売に協力して下さってい
ます。ありがとうございます
います。

ファイト!ファイト!

→ 佐藤 郁子さん

結婚なさって、幸福な新
婚生活を送っていらっしゃると
思っていましたら、ご主人が
出張先で、急にせくなられたと
のこと。

そのショックで早産なさった
とのことですが、今は、母子共
元気にすごしておられるよう
です。「今でも、夫が出張から
“ただいま”って帰ってくるよ
うな気がする」と、おっしゃっ
ておられました。

どなたか、はげましの言葉を!

→ 長谷川 ムツ子さん

脳腫瘍の手術をされ、
それまで悩まされてい
た頭痛や耳なりなどが
ら すっかり解放され
た、とのこと。

まだ疲れやすく、本
調子ではない、とのこ
とでしたが、お声は、
以前より元気そうでし
た。

→ 林 麗子さん →

昨年 お母さんに付添われて
白金温泉での支部大会に参加
されましたが 今年また、甲
状腺の手術をされました。
結果は良好とのこと。

一日も早く 元気になって
また お便りくださいね。

→ 天口 京子さん →

滝上町立病院に入院中です
が、先日 札幌医大での定期
検査を受けに来れされ、事務
所へも寄って行かれました。
1989年に胸腺の手術を受けて
いますが、全然良くなりません
とのこと。

来年あたり再検査を、とのこ
とでした。

→ 本田美津子さん →

胸腺の手術をして、もう
10年近くになるのに、な
かなか良くなりません。北大
で検査を試みたところ、
やはり 胸腺のとり残し
があったため、再手術を
うけました。

南札幌病院入院中です。

→ 新谷 礼子さん →

胸腺のところは、ゆ着し
ているため、再検査はで
きませんでした。 “胃
かいよう” とのこと。で、
胸腺の前にまず 胃を治
すことになりました。

南札幌病院入院中です。

→ 下吉ひとみさん →

50年ころの発病で、まだ胸腺をとっていないとのこと。最近、症状がよくないので、年が明けたらすぐにでも、神経内科を受診したいとのことでした。

→ 沢口愛子さん →

54年にコバルト照射を受けていますが、今回胸腺を受け、36gの胸腺があったということです。術後は、口、手、足の症状がこれ、プレドニンだけで調整しているとのこと。とても元気そうでした。

→ 稲見和美さん →

38年に胸腺をしています。眼瞼下垂、複視がまたしばらく続いているため、神経内科（北祐会病院）へ、再検査のため、まもなく入院する予定です。

→ 庄子久子さん →

夏の間、いろいろなことが重って、ちょっと体調が不安定とのこと。

でも、マイテラージ4錠だったのを、2錠半まで減らすことができたそうです。薬を減らしたいと前々から悩んでいたのが、あんがい簡単に減らすことができたこと、よろこびのお便りをいただきました。

わたしの学校は、だいたい110の人がやさしいけど、
いじわるな人が少しいます。

わたしのクラスの人、みんなたまにけんかを
することがあります。

わたしもけんかをします。

でもみんなは、ふたんはやさしくて、いい人です。

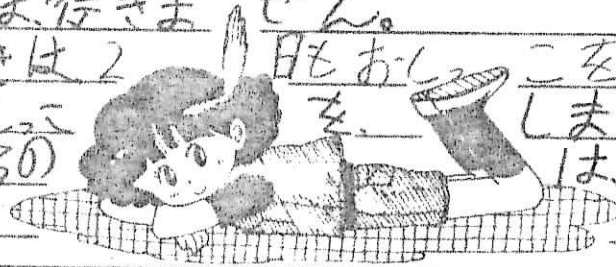
これでわたしのてがみは書きおわりました。

それでは、うちの白ちゃんのことを書きます。

白ちゃんは、おすねこです。

あんまりには、行きません。

足をけかしたときは、
でもや、とあしに
ねすみをやるの
ふつうです。



いままです。二匹きほどと、てきました。

一か月、しんたねすみを、てきたので、

白ちゃんからむりやりねすみを、てもやしました。

二か月、は、いきているのを、てきました。

三か月、は、二か月とあしなびて、

白ちゃんは、ヒロコというめすねこをすきです。

ヒロコちゃんも、白ちゃんのこと、がすきです。

白ちゃんは、すききり、が大きくて、さかなは、かり食べます。

白ちゃんは、ねては、かりります。

白ちゃんがおさんぽで、遠くへ行てから、白白とよんで、
5分ぐらいたつとかえ、てきます。

それでは、きうは、このへんで、ような、

下広えみ子より。

難病連からのお願い

●● 難病センター運営協力会に、ぜひ ご入会を!! ●●

皆様のお手元に「なんれん」NO.27は届いておりますでしょうか？

5年前 皆様には 難病センター建設協力会にご協力いただき、5年間、センター建設のための会員となっていただきましたが、おかげさまで、来春早々に開設の予定で 現在 建設中です。

センター開設後には、統合的な難病対策の推進のためのいろいろな活動が待ちかまえており、そのためには、さらにたくさんの方の運営資金が必要となってまいります。

建設協力会にご協力いただいた皆様には、深くお礼申し上げますと共に、今後さらに 運営協力会の会員として、ご協力ご支援下さいますよう、お願いいたします。

- 会費 年額一口 2000円（何口でもけっこうです）
- とじ込みの申込書をご利用下さい。

チャリティ クリスマス パーティー

たくさんのご参加をお待ちしています。

前売券は 事務局・緑川 (TEL 261-8026)

までお申し込み下さい。

♡ とき **12月19日(日)**
13:30 ~ 16:30

♡ ところ **ホリディンウエラマ**
(札幌市中央区南4番3
オ3グリーンビル2F)

♡ かいひ **2500 円**
(小・中学生 1000円)

♡ ウイスキー・ジュース、フリードリンク ♡

♡ マジックショー、レビュー ♡♡♡

♡ 車イスでもできるダンス ♡♡

♡ チャリティオークション ♡♡♡♡

♡ 抽せん会 ♡♡♡♡♡

♡ 司会はHBCアナ 河原たえこさん♡





案内



友の会事務局からの

お知らせ

 新会員のお知らせ・・・ヨロシクネ 

- 斎藤 トシさん T.5年生
- 渡部 サグエさん S.2年生
- 阿部 友美さん A.51年生
- 松村 英子さん S.19年生
- 湯原 エリ子さん S.3年生
- 神原 輝彦さん S.18年生

 ご寄付ありがとうございました 

- 佐藤 郁子さん ¥1,000-
- 日蔭由紀子さん ¥1,000-

・天口 京子さん ¥1,000-

・庄子 久子さん ¥2,000-

☆☆ 賛助会費をいただきました。

ありがとうございました。☆☆

・室谷 照之 様

・山下 勝三 様

・室谷 惣市 様

・渡部 サダエ 様

・但馬 和子 様

・永井 よしの 様

・鎌田 毅 様

・伊藤 かすみ

★★ 会費納入のおねがい ★★

郵便振込用紙を同封致しましたので、J57年度前期分(1,500円)
または J57年度前期・後期分あわせて(3,000円)お納め下さ
るよう、お願いいたします。

郵便局まで行くのが困難な方は、切手でもかまいません。

また、納入が困難な方は、会費免除の制度もありますので、
事務局まで、お知らせ下さい。

なお、すでに納入済の方、また、会費免除の方には、郵便振
込用紙は同封しておりませんので、ご了承下さい。

57年度 友の会道支部活動日誌

- 4月12日 難病連常任理事会 (出席: 伊藤)
- 14日 機関誌「わだち」発送 (作業: 緑川・かすみ)
- 17日 難病連総会 (中道・村山・山田・工藤峰・工藤裕
東谷・高橋・緑川・伊藤・かすみ)
- 18日 交流会
- 21日 友の会委員長会 (錦田・中道・東谷・高橋
村山・緑川・伊藤・かすみ)
- (事務) 1. 報告書、決算書、活動報告書
2. 会費徴収作業
3. 会費徴収作業、会費・会費整理
4. 全国統一会費徴収
- 5月12日 難病連合同レク実行委員会 (出席: 伊藤)
- 21日 難病連合同レク実行委員会 (出席: 伊藤)
- 27日 27/112150総会 参加: 京都
(出席: 伊藤・かすみ・緑川・高橋・山田)
- (事務) 1. 報告書、決算書、活動報告書
2. 支部免状申請、あとしまつ
3. 物品販売、難病連入予算、決算書提出
4. 全国統一会費徴収、新年度事務書類準備
- 6月10日 難病連合同レク実行委員会 (出席: 緑川・伊藤)
- 24日 難病連常任理事会 (出席: 伊藤)

6月27日 難病連合同レクリエーション 於:真駒内公園

(中道・宇庭・竹村・高橋・橋本・東谷
鈴木・西田・山田・緑川・伊藤・かみ)

○事務局 — 合同レク準備・連絡
相談・手紙等6件

7月4日 難病連丞館地区合同レクリエーション
" 旭川地区 " " "

7日 支部大会アンケートハガキ発送

8日 合同レク反省会 (伊藤・緑川)

10日 難病連才72回理事会 (山田・伊藤)

13日 機関誌「わだち」発送

(中道・竹村・高橋・鈴木・工藤)
(室谷・室谷・緑川・かみ)

17日 友の会役員会

(

22日 難病連常任理事会 (伊藤)

27日 難病連才73回理事会 (村山・伊藤)

○事務局 — 機関誌「わだち」諸作業
相談・電話・手紙等8件
支部大会諸連絡

8月7日 難病連全道集会 (20名参加)

8日 " 役員研修会 (村山・猪口・緑川・伊藤・かみ)

○事務局—名簿・あて名カード整理
相談・電話・手紙・訪問等14件

9月9日 難病連常任理事会 (伊藤)

18日 杉本アヒさん葬儀 (緑川・かすみ)

19日 " (高橋・緑川・かすみ)

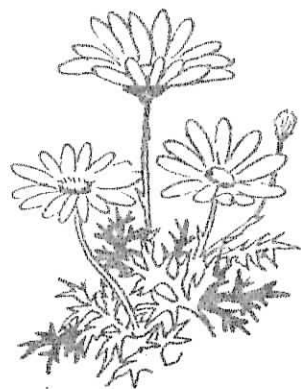
24日 難病連常任理事会 (伊藤)

26日 " オマケ回理事会 (山田・村山・伊藤)

○事務局—相談・電話・手紙・訪問等25件

☆ この他に、入院されている会員の方の訪問を、各役員で行っています。

☆ 事務的な雑務については省略しました。



あ　　が　　き

- 9月末から“わたし”の準備をはじめて、2ヶ月もかかってしまいました。家と事務所と両方で仕事をしているので、よけいな手間は、かかってしまいます。
- 今号で 総会の時の個人相談について載せる予定でしたが、録音をしておりませんでしたので、中止にしました。申しわけありません。 (か)
- あっという間に 11月 早いですネ。本当にいつもいつもおくれてしまい申しわけありません。
- 難病連事務局で仕事をして、やっと少し慣れてきた今日この頃です。事務所では、かすみさんのあとに座っておりますので、どうぞよろしく。
- 8月 10月号が 合併号になりました。ごめんなさい。
- 皆さんからの お手紙おまちしております。

(み)

編集人 全国筋無力症友の会北海道支部
〒060 札幌市中央区大通西9丁目
協栄生命ビル9階 電話261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区南9西4 神原義郎

昭和46年1月13日第3種郵便物認可H5K通巻第126号

昭和57年10月10日発行(毎月1回10日発行)

おだちNo442号

1部50円